

## 令和8年2月教育長定例記者会見

期 日 令和8年2月13日（金）

時 間 16:00～16:13

出席記者 テレビ新広島、RCC、広島ホームテレビ、中国新聞、NHK、時事通信、  
共同通信、朝日新聞、山陽新聞、読売新聞

### 《県立高等学校の再編整備について》

中国新聞： 中国新聞の野平です。よろしくお願ひします。高校再編のことについて伺ひます。これまでですね、教育長の方は、呉市と尾道市の市長から要望書を受け取られたかと思うんですが、率直に、受け取られてどのように教育長として受け止められたかということをお教えください。

教育長： はい。呉市、それから尾道市から要望書をいただいております。要望書の中におきましては、いずれの自治体の中にある県立高等学校についても、非常に大事な学校であるということの思いと、これから少子化の中で子供の数が減ってまいりますけれども、市としても生徒数の確保に取り組んでいくといった提案があったところがございますので、その点についてしっかり提案・要望を受け止めて、調査・検討したいというふうにご検討しているところでございます。

中国新聞： 分かりました。仮にですね、他の市町の方からもこういった要望書が提出された場合は、どのように対応するお考えでしょうか。

教育長： 具体のことについては、また素案を公表させていただいた後に丁寧に御説明をしていきたいと思っておりますけれども、教育委員会の考え方といたしましては、昨年10月に基本的な考え方を示させていただきました。もっと言いますと、基本計画から遡るんですけれども、2年前に策定しました基本計画におきましては、県立高等学校の学級数について、6学級を基本としつつ、都市部と中山間地域それぞれの地域の事情がありますので、中山間地域においては2学級から6学級、都市部におきましては4学級から8学級といった考え方を2年前の基本計画で決めました。それを踏まえて、具体的な実施を図るにあたって、昨年10月に、都市部において4学級未満となる学校については、統合・再編整備をしつつ、魅力化を図るといった考え方を示させていただきましたので、そういった基本的な考え方の中で、どのような対応ができるのかということについては、今も関係の自治体の皆様に考え方を御説明し、御意見を伺っているところではございますけれども、今後、「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画」の考え方を素案として公表させていただいた後も、しっかり御意見を伺いながら調整をしていきたいというふうに思っております。

中国新聞： 分かりました。今、スケジュールのお話もあったかと思うんですが、昨年10月の県議会、文教委員会の方で県教委が示されている資料を見ますと、今年の1月に実施計画案を公表し、パブリックコメントを実施し、3月に実施計画確定とあるんですが、1月はもう既に過ぎてしまっているんですが、このスケジュール案はどのように変更されていく予定なんでしょうか。

教育長： 現時点において詳細について述べることは差し控えさせていただきたいと思

いますけれども、いずれにしても、いずれかの段階で、調整でき次第、実施計画の素案について公表させていただいて、それからしかるべく御意見を頂戴するプロセスを経た上で、策定に向けて調整していきたいというふうに思っております。

**中国新聞：** 昨年10月の時点では、1月に実施計画案公表、1月にパブリックコメントを実施するとあるんですけれども、これが今、既に2月になっているので、10月当時に示された時から遅れてしまっているのは、これはどうしてなのでしょう。

**教育長：** これまでもですね、関係の自治体の皆様の御意見を頂戴するといったことなどをしてまいりましたので、その過程において今に至っているというところが結果としてあると思います。いずれにしてもですね、基本計画の策定からまもなく2年を経過しようとするところがございますので、これまでの検討経過、それから様々な御意見を頂戴したところを踏まえつつ、さらに素案を公表した後も、しっかり御意見を伺いながら調整をして、実施の段階にどのように進めていくのかということについて、しっかり議論をしながら進めていきたいというふうに思っております。

**中国新聞：** しっかり議論をしながら進めていく中で、昨年10月時点では1月に公表を予定していくとされていた部分が遅れている理由として、どうしてそうなったと受け止めたらいんでしょうか。

**教育長：** はい。これまで様々な方とコミュニケーションを取ってまいりましたので、その過程において、これまで我々が10月に一旦目安としてお示したスケジュール感を、これありきで進めることについては中々タイミング的に難しいということもあって、結果として現在に至っているということにはございます。一方で、先ほど申し上げたように、基本計画の策定から間もなく2年というところがございますので、そういったところのスケジュール感、一旦目安としてお示した昨年10月時点のスケジュールも踏まえつつも、しっかり御意見を伺いながら、両面で進めていきたいというふうに思っております。

**中国新聞：** 具体的な対象となる高校について、県教委としてはまだ公表はされていないと思うんですが、この計画を見ると、実施計画案を公表された後にパブリックコメントを実施して、市民の意見を踏まえた上で計画を確定させようという考えだと思うんですが、今、2月の半ばになるんですけれども、年度内に実施計画を確定するという事は可能なんでしょうか。

**教育長：** 年度内ありきというところでは必ずしもないというふうに思っております。ただ一方で、先ほど申し上げたように、これまでの時間の経過もありますので、ある程度のスケジュール感を持ちながらも、しっかり御意見を伺いながら調整をしていきたいというふうに思います。

## 《高校教育改革について》

**中国新聞：** 分かりました。後ですね、令和8年度の当初予算のことを伺うんですけれども、高校再編に関する事業ですとか予算計上というのは、今回の予算案の中にあるんでしょうか。

**教育長：** 具体的なところで言いますと、直接的にまだ中身が入っているわけではありませんが、高校教育改革について、国の補正予算を活用した基金を造成する予算を計上しております。国の方では2段階に分けて交付するスケジュールを組んでおりまして、一旦はその基金を造成し、その準備経費として行うもの、そして、各県でまとめる高校教育改革の

実施計画を、グランドデザインを踏まえてまとめたところで、具体的な高校教育改革に資するものの申請をし、そちらの交付受けて改革を進めるというような2段階になっております。まず一旦は、今回の基金造成が一つの関係経費になろうかと思えますけれども、その具体のところは第2弾のところに関わってくると思っております。

中国新聞： 分かりました。ありがとうございます。

#### 《県立高等学校の再編整備について》

山陽新聞： 山陽新聞です。今の御質問に関連してなんですけれども、素案の公表のスケジュールは、週明け月曜日に常任委員会が予定されていると思うんですが、そこでの公表があるかないかを教えていただけますでしょうか。

教育長： はい。この場では差し替えさせていただきたいと思えます。いずれにしても、議会側との調整もごさいますので、調整が整い次第、御説明させていただくという考えではあります。

山陽新聞： あるともないとも言えないということで（よろしいでしょうか）。

教育長： この場では、はい。

山陽新聞： 分かりました。

(以上)